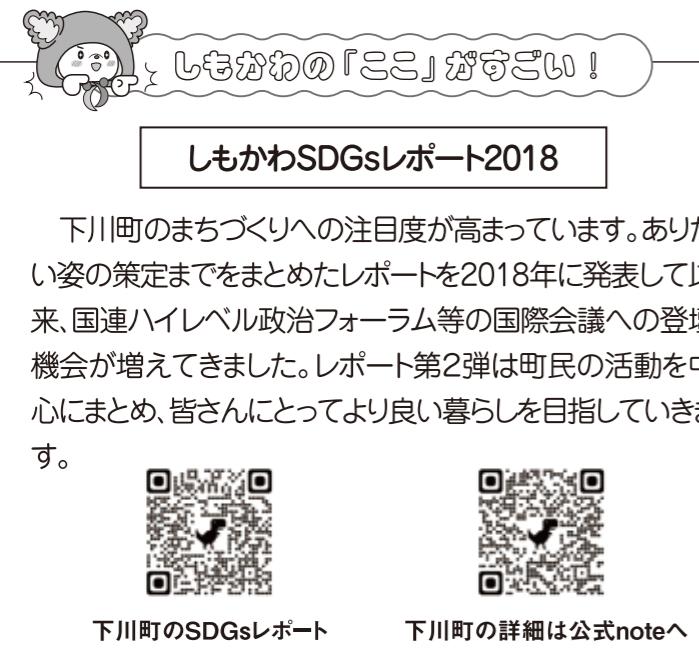




目標3 「人も資源もお金も循環・持続するまち」と、目標6「世界から目標とされるまち」を実現する道筋として再生可能なエネルギーの導入を促進するためのロードマップを策定しました。バイオマスや林業等これまでの町の取組を基盤に、食材や木材、エネルギーなどを地消地産(※)し、持続可能な地域社会を実現していくことをを目指しています。まずは省エネ対策を行いつつ、現在と未来の町民にとって良いバランスで再エネ展開への実施を目指していきま

再生可能エネルギー導入 促進ロードマップ



下川町のまちづくりへの注目度が高まっています。ありたい姿の策定までをまとめたレポートを2018年に発表して以来、国連ハイレベル政治フォーラム等の国際会議への登壇機会が増えてきました。レポート第2弾は町民の活動を中心によくまとめ、皆さんにとってより良い暮らしを目指していきます。



下川町のSDGsレポート

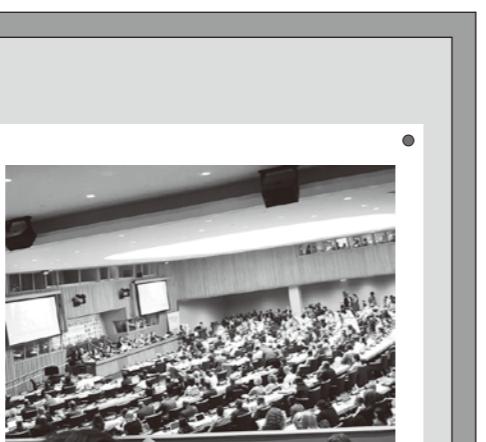


下川町の詳細は公式noteへ

「ありたい姿」掲示板

- ## ハイレベル政治フォーラム(略:HLPF)とは?

H L P Fは国連が毎年開催する国際会議で、SDGsを含む「2030アジェンダ」の進捗報告が目的です。今年のテーマは簡単に言えば、「アフターコロナはより一層社会・環境・経済の3側面で足止めをされたコロナ禍の時間を挽回しましょう！」で、日本も2回目のSDGsレポートを提出しました。各国政府や首脳以外にも、企業、自治体、研究機関、先住民、ゆる立場の人人が集まるため、世界に声を届け、重要な意味があります。今年は下川町が大都市以



うに包括的な目標になります。した。ありたい姿は下川町のまちづくりの方針である第6期総合計画の将来像に位置付けられています。つまり、下川町の施策、事業は全て「2030年における下川町のありたい姿」を実現するための道のり、といたします。



地域共育ビジョン

下川町はありたい姿のそれぞれの目標を実行していくためのビジョンを策定し、それに基づいたまちづくりをしていきます。今回は2つ、ご紹介します。

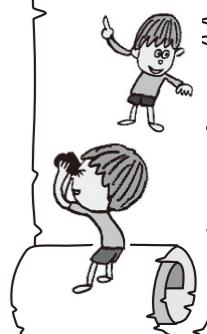
た。そのため、目標7に特化した「子どもが誰ひとり取り残されず、全体が大きな家のような共育のまち」の実現を目指す「地域共育ビジョン」を町民と教育に携わる人たち、PTAが一緒に議論し策定しました。今年度からは具体的な取り組みを進めております。詳しく述べておきます。



第5章

ありたい姿

探検記



お問い合わせ
政策推進課